

# 株式会社 丸井グループ

## 2021年3月期 第3四半期決算概要

〇|〇|  
MARUI GROUP  
2021年2月8日





- ① EPSはコロナ影響により30%減の64.8円
- ② 連結営業利益は286億円（13%減）と5年ぶりの減益
- ③ 小売セグメントの営業利益は77%減、  
フィンテックセグメントの営業利益は4%増
- ④ 営業利益に対するコロナ影響は、小売セグメント△52億円、  
フィンテックセグメント△17億円
- ⑤ 当期利益は休業期間中の固定費を一部特別損失として  
計上した影響もあり30%減の139億円、6期ぶりの減益

## 連結業績



	20年3月期 第3四半期	21年3月期 第3四半期	前年比 (%)	前年差
EPS (円)	92.0	64.8	70	△27.1
	兆 億円	兆 億円	%	億円
グループ総取扱高	2 1,743	2 1,637	100	△105
売上収益	1,864	1,645	88	△219
売上総利益	1,490	1,347	90	△143
〈リカーリングレベニュー〉	984	910	92	△74
販管費	1,161	1,061	91	△100
営業利益	329	286	87	△43
(通期業績・通期予想に対する進捗率)	(78%)	(81%)	—	—
当期利益	199	139	70	△60

## セグメント別利益の状況

### 営業利益

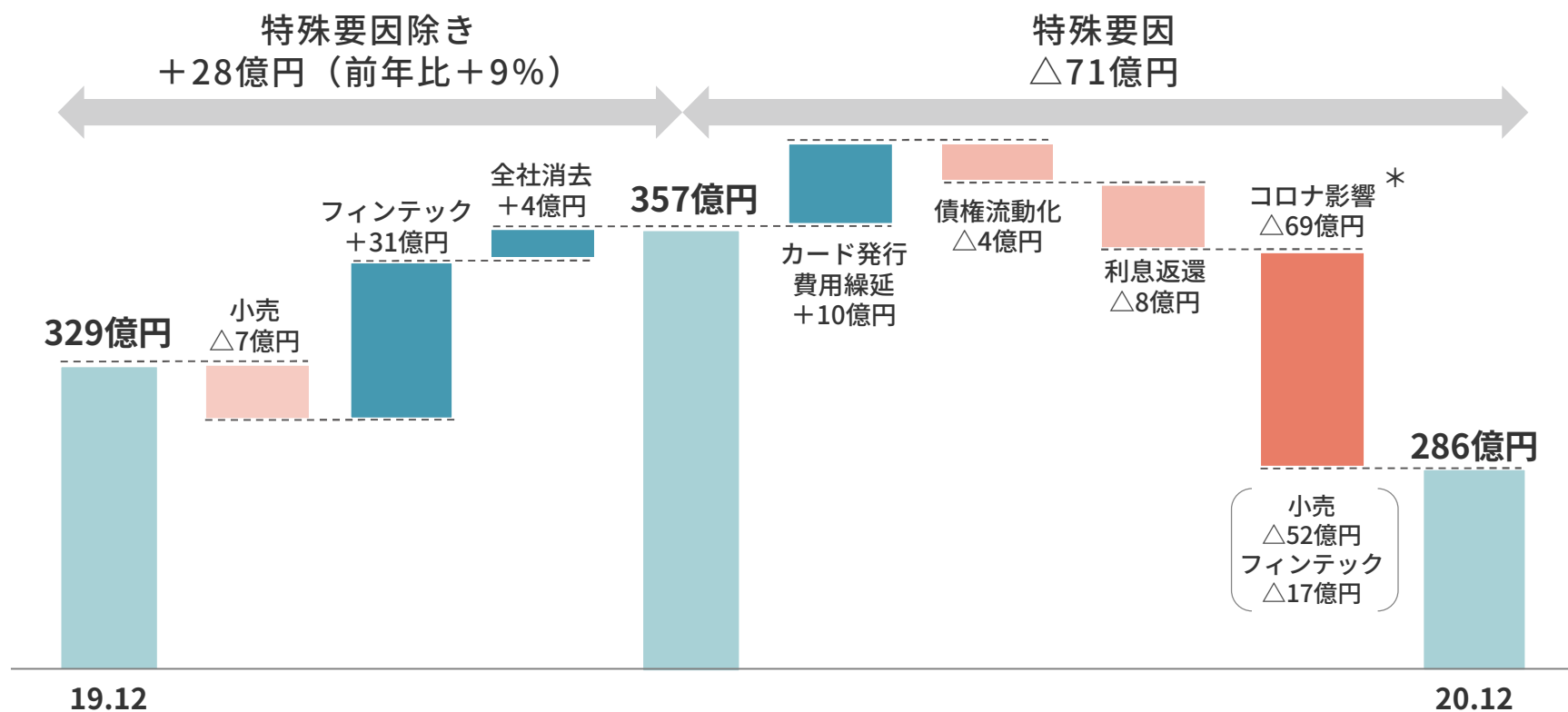
	20年3月期 第3四半期	21年3月期 第3四半期	前年比	前年差
	億円	億円	%	億円
小売	77	18	23	△59
フィンテック	303	316	104	+12
全社・消去	△51	△48	—	+4
連結	329	286	87	△43

### ROIC

	21年3月期 第3四半期	前年差
	%	%
	0.6	△2.0
	3.8	+0.3
	—	—
	2.6	△0.3

## 営業利益増減の内訳

- 連結営業利益はコロナ影響を含む特殊要因を除くと、9%増の28億円増益



\*コロナ影響：今期が、前期のコロナ前（2019年4月～2020年2月）の基調で推移したと仮定した場合との差

## フィンテックセグメントの状況

	20年3月期 第3四半期	21年3月期 第3四半期	前年比	前年差
	万人	万人	%	万人
新規会員数	60	37	62	△23
（丸井グループ店舗外入会）	(34)	(27)	(81)	(△6)
カード会員数	714	711	100	△3
プラチナ・ゴールド	240	267	111	+27
	兆 億円	兆 億円	%	億円
フィンテック取扱高	2 0,029	2 0,492	102	+463
ショッピング	1 6,297	1 6,301	100	+4
（外部加盟店）	(1 5,538)	(1 5,787)	(102)	(+249)
サービス	2,570	3,354	131	+784
カードキャッシング	1,098	773	70	△325
営業債権残高（流動化債権を含む）	7,592	7,510	99	△82
ショッピングリボ・分割払い	3,585	3,553	99	△32
カードキャッシング	1,517	1,333	88	△185
貸倒率（%）	1.36	1.52	—	+0.16

## バランスシートの状況

	20年3月末	20年12月末	増減
	億円	億円	億円
営業債権	5,556	5,658	+102
（債権流動化額：外書）	(1,819)	(1,853)	(+33)
〔流動化比率（%）＊1〕	[24.7]	[24.7]	[0.0]
割賦売掛金	4,163	4,463	+301
営業貸付金	1,393	1,194	△199
固定資産	2,592	2,737	+145
投資有価証券	274	471	+197
有利子負債	4,798	4,842	+44
〔営業債権比（%）＊2〕	[86.4]	[85.6]	[△0.8]
自己資本	2,898	3,042	+144
〔自己資本比率（%）〕	[32.7]	[33.1]	[+0.4]
総資産	8,860	9,193	+334

＊1 流動化比率＝債権流動化額／（営業債権＋債権流動化額）

＊2 営業債権比＝有利子負債／営業債権

## キャッシュ・フローの状況

	20年3月期 第3四半期	21年3月期 第3四半期	前年差
	億円	億円	億円
営業キャッシュ・フロー	114	198	+84
営業債権等の増減（△は増加）	△166	56	+223
<b>基礎営業キャッシュ・フロー *</b>	<b>280</b>	<b>141</b>	<b>△139</b>
投資キャッシュ・フロー	△151	△150	+1
固定資産の取得	△90	△88	+2
投資有価証券の取得	△63	△45	+18
保証金返還他	2	△17	△19
財務キャッシュ・フロー	△49	△59	△10
有利子負債の増減（△は減少）	136	43	△93
配当金の支払	△117	△101	+16
自己株式の取得他	△68	△1	+67
現金及び現金同等物の期末残高	381	397	+16

\* 基礎営業キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー - 営業債権等の増減



# 共創投資の状況

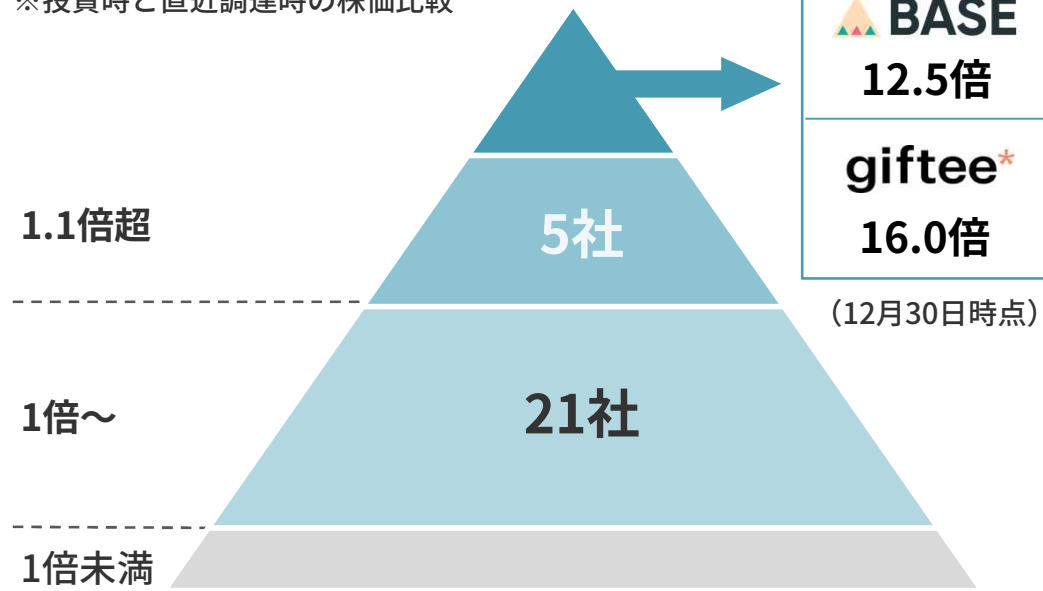
## ■20年12月末 投資状況

tsumiki証券	19億円
D2C & Co.	16億円
ベンチャー	111億円
ファンド	57億円

累計203億円

## ■投資先28社の状況

※投資時と直近調達時の株価比較



ハードルレート IRR 10% < IRR 79%

\*IRR：保有する有価証券のうち、対象とする銘柄につき直近調達時価格、上場株は各会計期末時点で売却したものと仮定し算出

# ESGの状況について

- D J S I World Index構成銘柄、CDP『気候変動Aリスト』企業にそれぞれ選定
- 「みんな電力エポスプラン」をスタート、お客さまへの再エネ利用を促進

## ■おもな外部評価

- 2020年11月 D J S I World Index構成銘柄に選定、小売分野において世界1位を獲得
- 2020年12月 CDPより最高評価の『気候変動Aリスト』企業として認定

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
Powered by the S&P Global CSA

3年連続



CLIMATE  
3年連続

## ■環境課題解決の取り組み

- 2020年9月「みんな電力エポスプラン」をスタート、エポスカード会員向けに再エネ電力の利用をスマホ経由で簡単に申し込めるシステムを開発
- 2020年10月「みんな電力エポスカード」の発行をスタート
- 利用客50万人、年間100万トンのCO2削減をめざす

みんな電力エポスプラン



## 2021年3月期 通期見通し


	20年3月期	21年3月期	前年比	前年差
	EPS (円)	117.6	72.3	61
ROE (%)	8.8	5.3	—	△3.5
ROIC (%)	3.7	3.1	—	△0.6

### < 参考 >

	兆 億円	兆 億円	%	億円
グループ総取扱高	2 9,037	2 9,700	102	+663
売上収益	2,476	2,230	90	△246
売上総利益	1,957	1,795	92	△162
販管費	1,537	1,440	94	△97
営業利益	419	355	85	△64
当期利益	254	155	61	△99

## <参考>2021年3月期 セグメント別利益見通し

	20年3月期	21年3月期	前年比	前年差
	億円	億円	%	億円
小売	100	30	30	△70
フィンテック	384	390	102	+6
全社・消去	△65	△65	—	0
連結	419	355	85	△64
*前提条件		11~12月期	下半期	
小売取扱高（店舗・Web）		81%	基調80%（前年比88%）	
フィンテック取扱高（外部加盟店）		106%	基調107%（前年比111%）	



本資料に掲載しております将来の予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。お問い合わせは、I R部 03-5343-0075にご連絡ください。

OIOI  
MARUI GROUP